
WOOD DECK DIY BOOK

サーモウッドを使った
ウッドデッキ DIY

IK-WOODS
LIFE



サーモウッドデッキ の作りかた

代表的な寸法のウッドデッキを例に、
材料選びから、ご家庭でも出来る
ウッドデッキの作り方をご紹介します。

組立てを始める前に

- ・ デッキの大きさ、木の種類を決めましょう。
- ・ 図面を作成しましょう（木の種類によってサイズが異なります）。
- ・ 材料を購入して、木どり^{*}・木材保護塗料の下塗りをしておきましょう。

※木どり…必要な寸法の材を切り取ること

図面

Type A

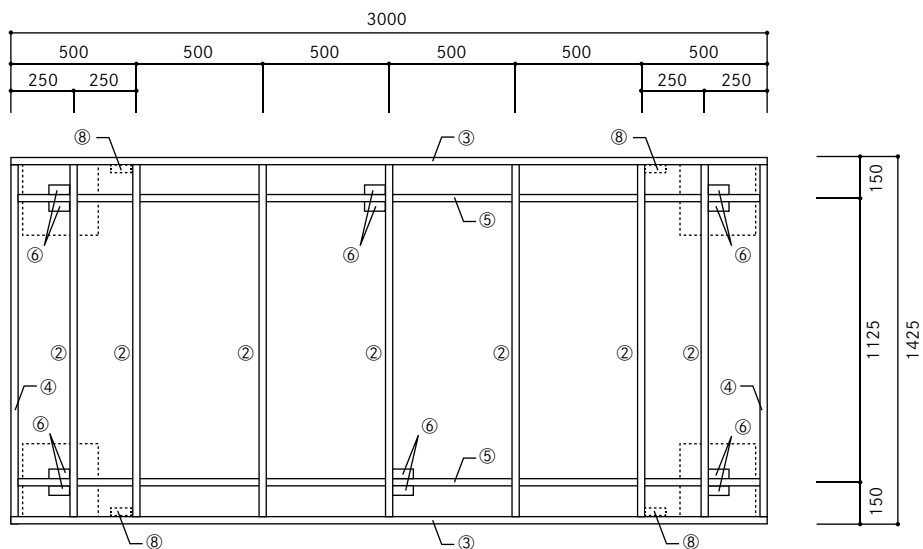
間口3,000×奥行き1,425×高さ450（単位：mm）

縮尺1/30

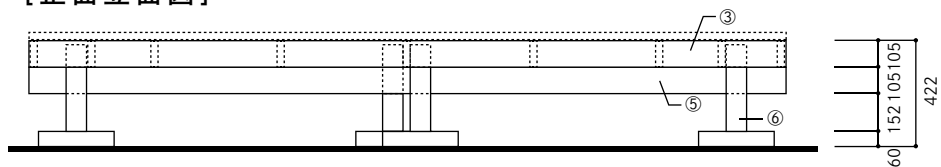
- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ①天板 | ②根太 | ③幕板 | ④幕板 |
| ⑤大引 | ⑥束A | ⑦束B | ⑧仮束 |

※仮束は束A・Bを付けた後に取り外します。

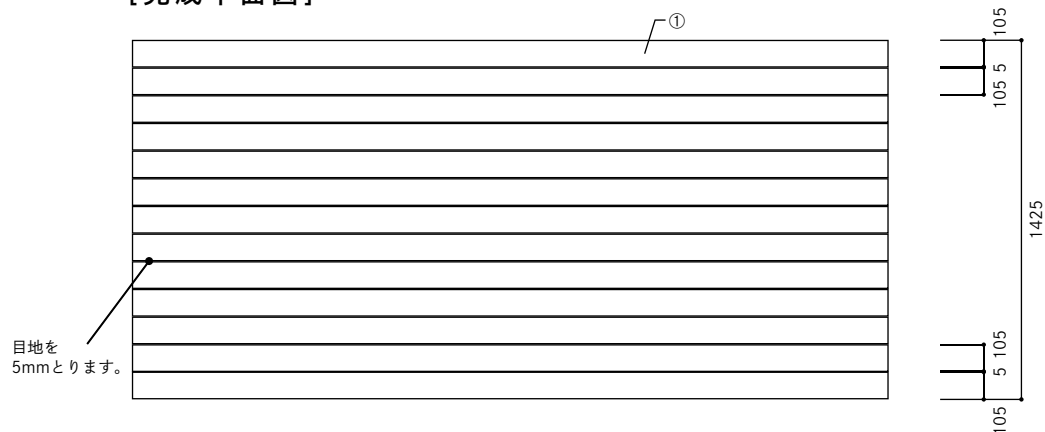
〔平面断面図〕



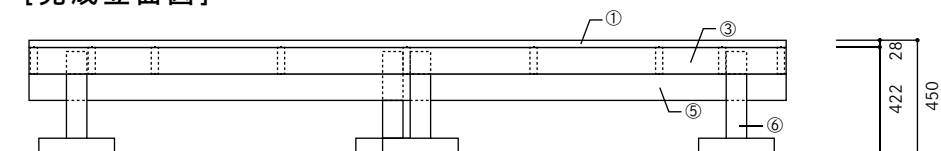
〔正面立面図〕



〔完成平面図〕



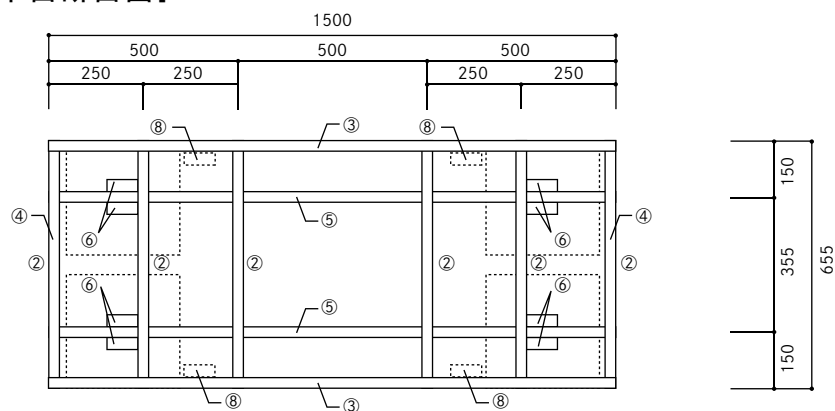
〔完成立面図〕



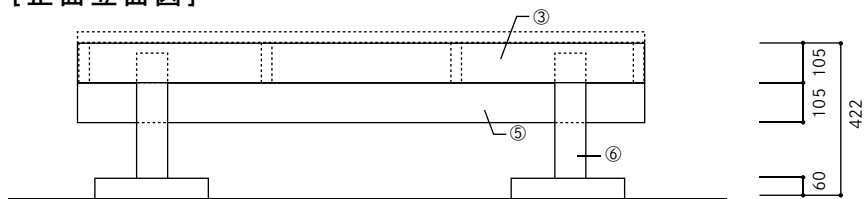
- ①天板 ②根太 ③幕板 ④幕板
⑤大引 ⑥束A ⑦束B ⑧仮束

※仮束は束A・Bを付けた後に取り外します。

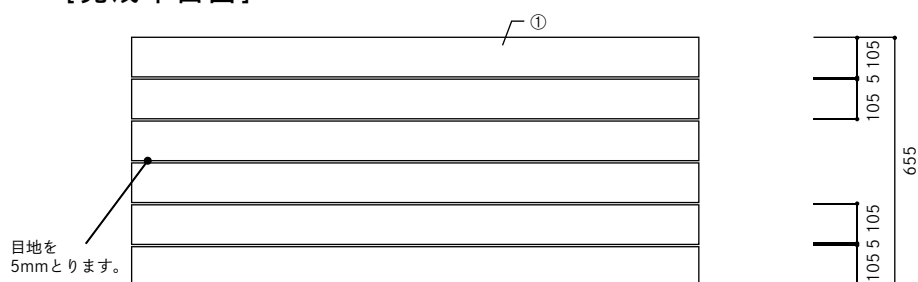
[平面断面図]



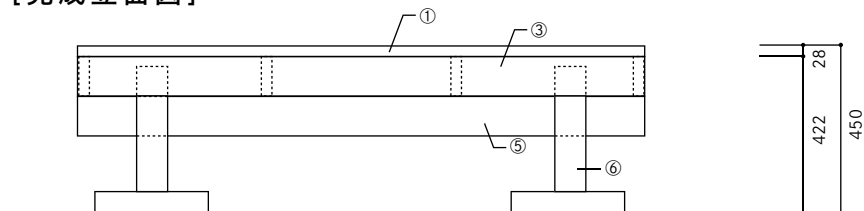
[正面立面図]



[完成平面図]



[完成立面図]



必要な材料

寸法単位はmmです。

Type A

間口3,000×奥行き1,425×高さ450（単位：mm）

木どり

No.	部材名	商品名	長さ	厚み	幅	数量
①	天板	サーモウッドひのき	3,000	28	105	13
②	根太	サーモウッドひのき	1,369	28	105	7
③	幕板	サーモウッドひのき	3,000	28	105	2
④	幕板	サーモウッドひのき	1,369	28	105	2
⑤	大引	サーモウッドひのき	3,000	28	105	2
⑥	束A	サーモウッド	約360	38	89	12
⑦	束B	サーモウッド	約152	38	89	6

購入する木材

商品名	長さ	厚	幅	数量
サーモウッドひのき	3,000	28	105	22
サーモウッド	1,500	38	89	3
サーモウッド	1,000	38	89	1

その他の材料

商品名	規格	数量
仮束用木材	長さ約500	4
木ネジ（コースレッド）	ステンレス65mm	約350
束石（コンクリート平板）	300×300×60	6
木材保護塗料	4ℓ	1

※仮束は施工後外します。

Type B

間口1,500×奥行き655×高さ450（単位：mm）

木どり

No.	部材名	商品名	長さ	厚み	幅	数量
①	天板	サーモウッドひのき	1,500	28	105	6
②	根太	サーモウッドひのき	599	28	105	4
③	幕板	サーモウッドひのき	1,500	28	105	2
④	幕板	サーモウッドひのき	599	28	105	2
⑤	大引	サーモウッドひのき	1,500	28	105	2
⑥	束A	サーモウッド	約350	38	89	8
⑦	束B	サーモウッド	約152	38	89	4

購入する木材

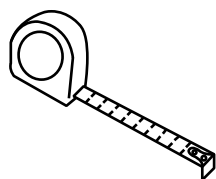
商品名	長さ	厚	幅	数量
サーモウッドひのき	3,000	28	105	6
サーモウッドひのき	1,000	28	105	1
サーモウッド	3,000	38	89	1
サーモウッド	500	38	89	1

その他の材料

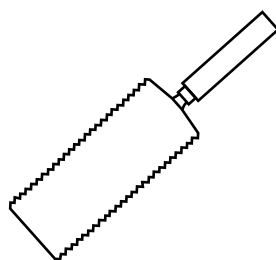
商品名	規格	数量
仮束用木材	長さ約500	4
木ネジ（コースレッド）	ステンレス65mm	約150
束石（コンクリート平板）	300×300×60	4
木材保護塗料	4ℓ	1

※仮束は施工後外します。

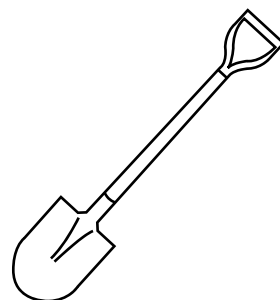
必要な工具



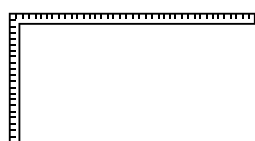
☐ スケール (5.5m 程度)



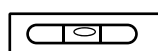
☐ のこぎり



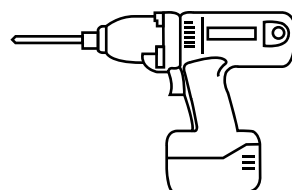
☐ スコップ



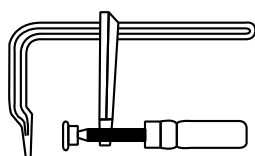
☐ 差し金・直角定規



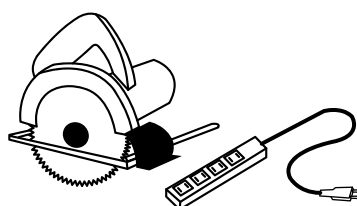
☐ 水準器



☐ インパクトドライバー
・先穴用ドリルビット
約 3 mm、約 8 mm

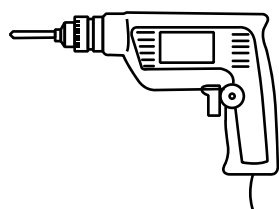


☐ 万力 (F クランプ)

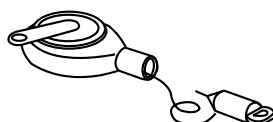


☐ 電動丸のこ
☐ 延長コード

あると便利な工具



☐ 電動ドリル



☐ チョークライン

その他

☐ ステンレスコースレッドビス
(推奨 65mm)

※天板を止めるビスは、材料の厚みの倍程度の長さで OK です。

☐ コンクリート平板 (束石用)

組み立て手順

仕上がりサイズ W3,000×D1,425×H約450 (mm)



Youtubeで
動画公開中！



サーモウッドとは

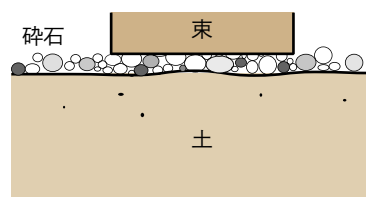
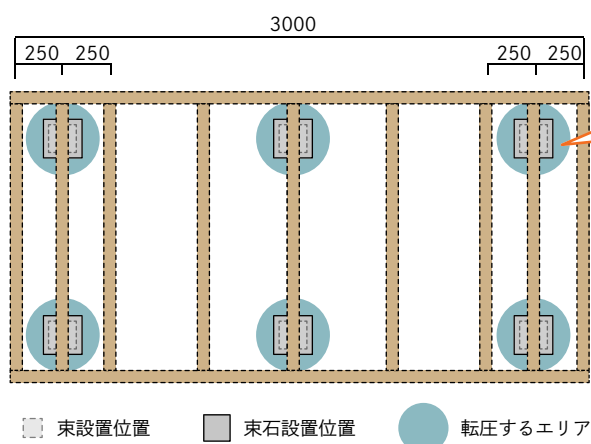
木材を高温の水蒸気雰囲気下で熱処理した木材。
化学物質を使用せず、熱処理によって寸法安定性を
向上させており、反りなどのあばれを防ぎます。
腐朽にも強いいため、屋外利用に適しています。



Step 01 束石設置場所の転圧

デッキ設置場所が土の場合、地盤が弱いとデッキ設置後に沈む可能性があるため、
束石設置位置(青色の部分)の土を転圧し、碎石を敷きます。

※転圧…重りで地面を突いて固めること



POINT

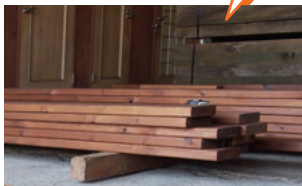
転圧するエリアは、少し大きめに
しておきましょう。

Step 02 木材カット、下塗り

p.4の表に沿って必要な長さに木材をカットします。

材料の準備ができたなら、あらかじめ全ての木材に木材保護塗料を塗り、十分乾かします。
木口面に番号を振っておくと、組み立てがスムーズです。

ホームセンターの木材カット
サービスを活用しよう！



必要な長さに木材をカット。



木材保護塗料を下塗りして
おきます。

木材保護塗料は規定の
量を守り、木目と並行
にムラなく伸ばして
ください。



木口面に材料の番号を振って
おきます。

Step 03 幕板と根太の組み立て

設置場所から少し離れた場所で、③④の幕板材（外周4枚）をビスで固定し枠組みをつくり、
②の根太材を取り付けます。



適当な材料を下に敷いて木材
を置き、組み立てていきます。



印をして下穴を開けてから
ビスで3か所ずつ留めます。

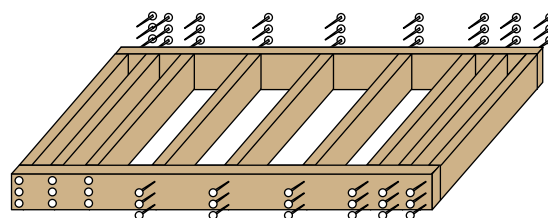


幕板→根太の順に組み立て
ます。



POINT

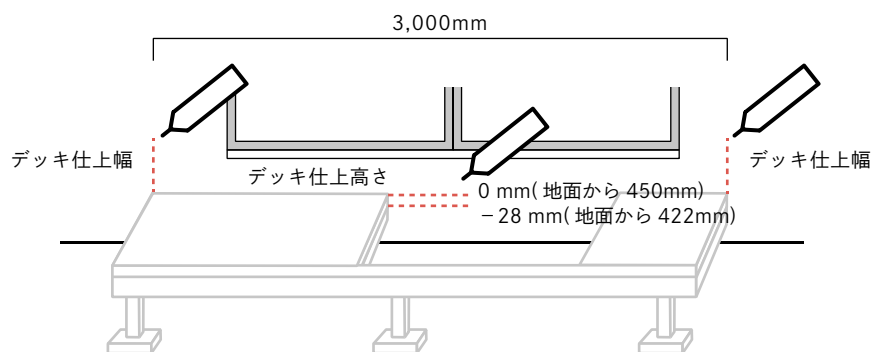
- ・木材の端が直角でない場合は、直角になる様に端をカットしておいて下さい。
- ・コースレッドネジを打ち込む前に、木材の割れを防ぐ為に下穴を開けましょう。ネジの皿部分の下穴を8mm程度のドリルビットで3～4mm程度開けることをお勧めします。また、ビスの打ち込む間隔を揃えると仕上がりがきれいになります。



ステンレスコースレッドビス
3本止め

Step 04 設置場所・高さの決定

デッキ取り付けの間口（3,000mm）の位置を決めて、壁面に印を付けます。
また、仕上がり高さ（450mm）に印をつけ、その高さより28mm（天板の厚み分）下に印を付けてください。



Step 05 仮束の取付、仮設置

⑧仮束を取り付けて、Step2で組み立てた幕板と根太を、Step3で印を付けた場所に合わせ仮設置します。高さは仮束で調整し、4方向共に水平になるように微調整を行って下さい。



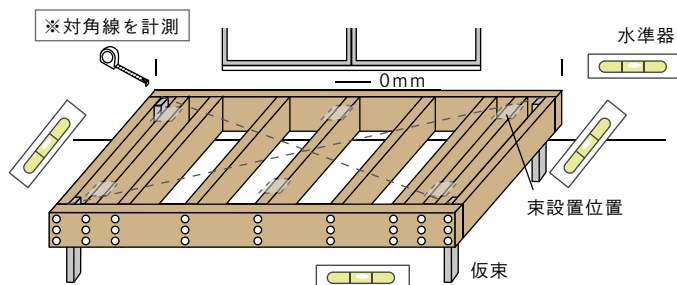
同じ長さの木材を仮束として4本設置します(樹種は何でも構いません)。

Step3で付けた印に合わせて高さを調整します。水準器で水平になっているか確認を。

微調整をして、対角線の長さが等しくなればOKです。

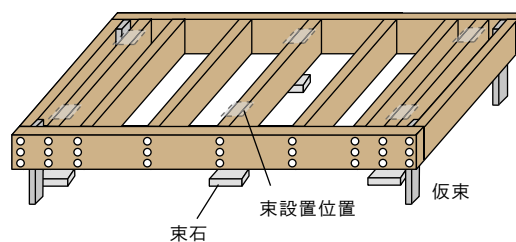
POINT

デッキ本体を垂直にするため、対角線の長さをはかり、2方向の長さが等しくなるように調整しましょう。



Step 06 束石の設置

束を取り付ける位置に、先に束石を設置します。デッキ本体を移動する前に設置しておいても構いません。束を取り付ける際に微調整を行います。



Step 07 大引・束の取り付け

⑤大引、⑥⑦束を取り付けます。今回は3本の束を使います。



1本目の束Aを取り付ける位置に印を付け、下穴を開けます。



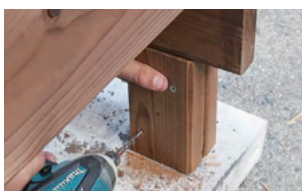
1本目の束Aをビスで留めます。



取り付けた束Aの内側かつ根太の下に、大引の側面をビスで留めます。



束Bに必要な長さ（束石から大引の下まで）を計測し、木材をカットします。



大引の下に束Bをビスで留めます。



2本目の束Aをさらに内側に取り付け固定します。



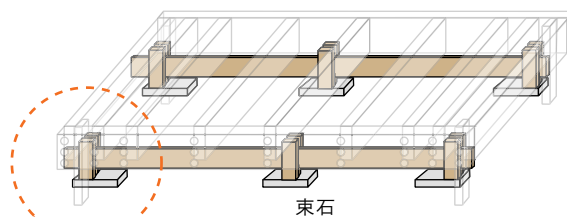
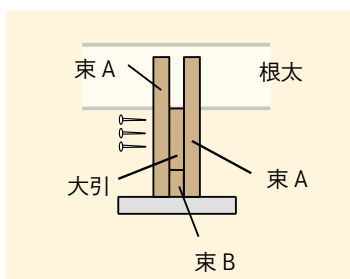
全て取り付けるとこのようになります。



6か所とも同様に取り付けます。

POINT

今回はイラストのような構成です。
3本の束と大引を取り付けます。



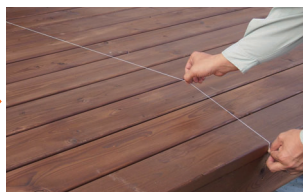
束Bの長さは、大引と束石の間の実寸を測ります。

Step 08 床板の取り付け

①天板用の木材を一度並べた後、両端の各1列をステンレスビスで固定します。
その後、1列ごとに目地幅に合わせた厚みの木片などをスペーサーとして使い、床板を固定します。



天板用の木材を並べます。



ビスを打つ位置（根太が下にある位置）に印を付けます。チョークラインがあると便利です。



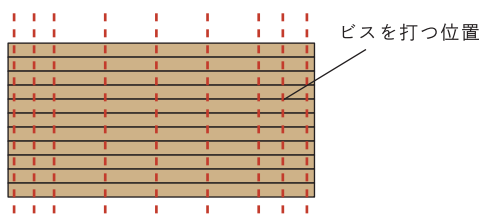
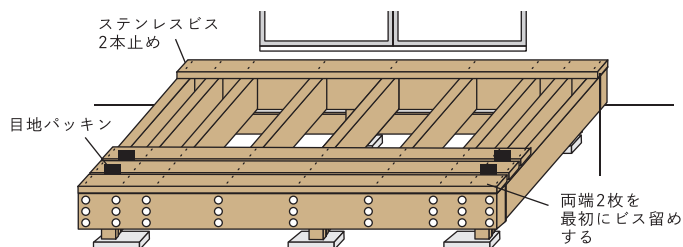
印をつけた位置に沿って、ビス穴を開けるポイントに目印を入れ、下穴を開けます。



目地幅に合った薄い木片などをスペーサーとして使い、床板を固定します。

POINT

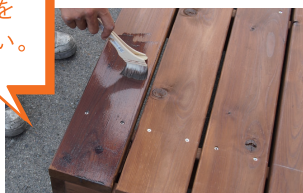
- ・木材は1本1本サイズに誤差がある場合があるので、全ての天板を並べてみてから、目地間隔を確認し、微調整しながら取り付けます。
- ・木材が反っている場合は、バールなどで傷つけないように調整します。
- ・ビスを打つのは根太のある位置です。



Step 09 仕上げの塗装

最後にもう一度塗装をして完成です。

塗装の効力は1年から2年程度です。屋外では紫外線などで表面が割れたり退色していきますので、時期をみて再塗装を行って下さい。



完成！

ウッドデッキの お手入れ方法

ウッドデッキを美しく保つための
方法をご紹介します。
お手入れも愛情こめて行えば、
家族イベントのひとつに。

お手入れを始める前に

まずはウッドデッキの状態をチェック
しましょう。汚れの状態によって、
どの程度のお手入れが必要かを確認
します。



約半年後



木材は天然の素材。屋外に強いものでも、年月が
経つにつれ、紫外線や雨によって色褪せや割れ・
めくれ等が現れてきます。

1. 道具の準備

お手入れに使用する道具を揃えましょう。汚れの程度に合わせて、必要なものを揃えてください。

日常のお手入れに

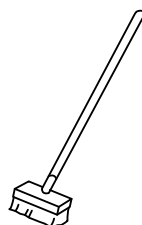


ほうき



水まきホース

少し汚れがあるとき

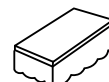


ブラシ

がんこな汚れがあるとき



家庭用
中性洗剤



スポンジ

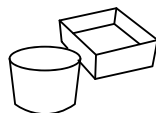


バケツ
(洗剤を薄める時に)

塗装をする



塗料



ポリ容器
(塗料の取分けに)



ゴム手袋
(汚れやけがの防止に)

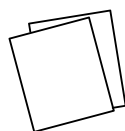


ウエス
(布)



刷毛
(細かい部分の塗装に)

ささくれが出ているとき



サンドペーパー
(#40 ~ 100 程度の目のもの)

よりきれいに塗装するために



養生テープ
(周りを汚さず塗装出来ます)

おすすめ 塗料

撥水性木材保護塗料<含浸タイプ>

「ステンプルーフ」

- 水をはじいて汚れを防ぐ
- 木材を腐りにくくする

ウッドデッキの塗装には「木材保護塗料」をお選び下さい。その中でも色々な種類がありますが、デッキのように人が歩いたり触れたりする場所は、塗膜を作らず再塗装が容易な「含浸タイプ」の塗料がおすすめです。「ステンプルーフ」は高い撥水性と防腐性がある含浸タイプの木材保護塗料です。

—— 撥水性の比較 ——



無処理



ステンプルーフ

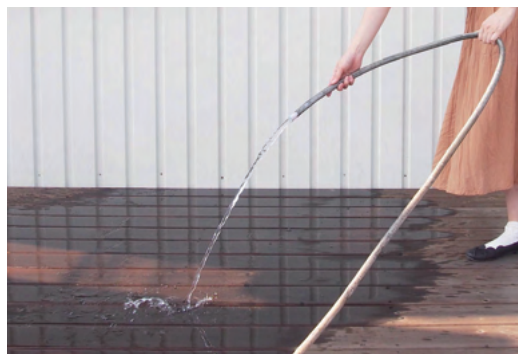
水をはじいて表面を保護



2. ほうきがけ 水まき

ごみやホコリをほうきで取り除きます。
取りきれないホコリや土は水で洗い流します。

日常のお手入れはここまでで OK !



3. こすり洗い

汚れがあるときには、ブラシを使ってこすり洗い。
木目、床板の長さ方向に沿って洗って下さい。
軽い汚れなら、モップを掛けるだけでもきれいになります。



4. 洗剤洗い

取れにくい汚れがある時は、家庭用の中性洗剤をお使い下さい。範囲が狭ければスポンジでも洗えます。
中性洗剤は、バケツなどの容器の中で水に薄めて下さい。

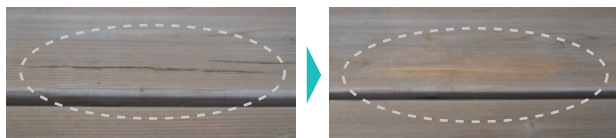


コケなど、ブラシでは取りきれない汚れには、タワシやスチールウール（食器用）がおすすめです。
キズが付かないように、こすり過ぎには注意して洗ってください。
洗い終わったら、半日以上かけて完全に乾かします。
更にきれいにするには、続けて塗装を行います。



5. やすりがけ

塗装を始める前に、割れやめくれがある部分を平らにします。＃40～100程度のペーパーを木片等に巻き、平らになる様にやすりがけをします。



6. 塗装

- ① ウッドデッキがよく乾いているかを確認します。金づちなどの硬いもので押して水が出なければ大丈夫です。
- ② ゴム手袋を着用して下さい。
- ③ 塗料をよく振り、ポリ容器に必要量を小分けします。
- ④ 目立たないところに試し塗りをして下さい。
- ⑤ ウェスを使用し、床板の長さ方向に塗料をのばすように塗って下さい。
- ⑥ 塗装の効果を長持ちさせるために、2度塗りをおすすめします。1回目と2回目の間隔は6時間が目安です。
- ⑦ 約1日乾燥させると塗装完了です。



細かい部分（目地やフェンス）への塗装には刷毛を使用して下さい。

目地の部分は、刷毛で塗った後にウェスでふき取るときれいに仕上がります。



よりきれいに塗るために



養生テープで養生すると、まわりの部分を汚さずに塗装できます。
(厚紙などで代用できます。)

途中で雨が降ってきたら

作業を中止し、養生をして雨がかからないようにしてください。
(まだら模様がつく恐れがあります。)



お手入れ
完了！

※塗料によって、塗装の工程が異なる場合がございます。
※塗料のお取扱いについては、お買い求めの塗料の注意事項をよくお読みください。

YouTube にて DIY 動画配信中！



＼ チャンネル登録お願いします ／

K-woods-life



K-WOODS LIFE

〔製造元〕 越井木材工業株式会社
〒314-0255 茨城県神栖市砂山 2626-11
TEL : 0479-46-4421 E-mail : info@koshi woods.com